# ワーカーズ winds

第51号 Vol.51
◆発行責任者
労働協同組合グリーンコープ
福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会理事会
◆編　集
福岡市博多区博多駅前1丁目5の1
博多大博通ビルディング10F
TEL:092-482-4166　FAX:092-472-9455
2018年6月現在 所属人数 2,180人

## 第六期通常総会報告

**第六期通常総会を、6月9日(土)九州ビル(福岡市)にて代議員34名(内委任状5名)オブザーバー105名、来賓12名の参加により開催しました。**

**今年度は福祉用品事業を担うワーカーズ、佐賀の子育てワーカーズの加入もあり更なる連帯がすすみました。**

**基調講演は「一般社団法人グリーンコープ労働協同組合(ワーカーズ・コレクティブ)連合会設立に向けて」と題して設立発起人会代表発起人の行岡良治さんに講演いただきました。午後は、昼食交流に続いて活動報告会を行ない、宮城県より参加いただいた「友好団体」デイサービスえんの齋藤貢一さん、一惠さんから震災後の様子も報告いただきました。2017年度の活動報告と2018年度の方針を紹介します。**

2017年度は、人材不足を重要課題としてワーカーズの担い手を増やす取り組みを共有し各県ですすめてきました。さらに、ワーカーズの働き方のよさを伝え、仲間づくりのためのツールとして「ワーカーズの栞」を作成し、ワーカー一人ひとりがワーカーズとはをより意識できるように取り組みました。また、在宅福祉を担う連帯組織として誕生し子育て、配食、福祉用品を仲間として迎えた私たちワーカーズ連合会は、次のステージに向かうためにこれまでのあゆみを振り返り、現状を捉えて、グリーンコープのワーカーズとともに私たちの未来を構築していくことを確認しました。

そして、2018年度は更に、ワーカーが自分の生き方を自由に表現できるワーカーズの働き方を地域に広め、グリーンコープ全体で地域福祉を進めるために、新たな組織作りに向けて、検討を丁寧に重ねていくことを参加者皆で確認しました。

### 2018年度の基本方針

(1)オールグリーンコープのワーカーズとともに「一般社団法人グリーンコープ労働協同組合(ワーカーズ・コレクティブ)連合会」の設立に向かいます。

(2)ワーカーズの担い手を増やし、地域のニーズを捉えた様々な取り組みを通して、ワーカーズ運動の広がりを目指します。

(3)研修を通してワーカーズ・コレクティブ(労働協同組合)とはを深めていきます。

(4)オールグリーンコープの仲間はもとより他団体とも連帯し、地域福祉を進めます。

(5)東日本大震災、熊本震災、九州北部豪雨大災害、大分台風災害など災害に見舞われた地域に向けて、復興に繋がる支援をグリーンコープと共に進めていきます。

### 総会議案は全議案可決承認されました。

引き続き、基調講演では、第一回職場会議討議資料をもとに、労働の本質は『人間の自己表現』であることを事例をあげて分かりやすくお話頂きました。そして、グリーンコープのワーカーズ(労働協同組合)が社会的地位とワーカー(労働協同組合員)の処遇を改善し、社会化・一般化していくことを設立の目的としていること、その第一歩として「掃除」をすることを大切にすることから始めましょうと提言をいただきました。

報告会では、夢を大きく形にできた、福岡の複合施設おひらき、熊本の複合施設三里木と配食バセリのセントラルキッチン、新たに加入したワーカーズの紹介など嬉しい報告が出来ました。

また、えんさんからは、震災の体験から学んだお話や、介護が素晴らしい職業であることを未来に繋いでいきましょうと力強い言葉を頂きました。

最後に恒例となった「明日があるさ」ワーカーズ版を合唱し、この一年の活力となるよう参加者みんなで思いをひとつにできた総会となりました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

会場には、うみねこ「ゆめハウス」の思いが詰まったグッズやつむぐのご利用者の作品の販売、福祉用品の注文販売、各部会からの展示物を掲示しました。

**<東北支援の取り組み>**
うみねこ「ゆめハウス」のグッズを販売しました。
今年は283点が届き、総額116,600円の支援となりました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**<かさじぞう基金・災害支援カンパ>**
参加者に呼びかけ、35,243円が集まりました。

### 夢だより

私達の夢の結晶であったデイサービス「夢＊グリーン」が開設して、お蔭様で丸7年を迎えることができました。たくさんのご利用者と出会い、別れがありました。

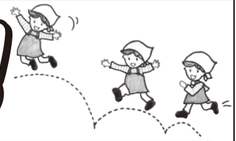
〝人は人によって磨かれる。自分磨きとは、人に出会い関わることである。〟という言葉が私は好きです。私達の仕事はまさに人と関わる仕事です。日々の中でたくさんのご利用者と出会いふれあうことで、私たち自身を成長させていただいているのです。おひとりおひとり皆違うからこそやりがいも生まれ、頑張る力が湧いてきます。開所当初から来てくださっているご利用者もおられ、7年のお付き合いになるわけですが、その間、入院でお休みもありました。でもやはり「夢＊グリーン」に来れてよかったと言ってくださいます。

これからも「ここに来るとほっとする。」と言ってくださるご利用者の笑顔を増やし、心地よい居場所作りが出来るよう、しっかり自分を磨いていきたいです。さらに、こんな元気をいただける仕事を一緒にする仲間を増やしていけたらいいなと思います。きっと大きな力になると信じています。

福祉ワーカーズ連合会理事
(ひろしま)



# 地域へ!ホップ・ステップ・ワーカーズ!!



## 「地域にはぐくむ!カフェ」

グリーンカフェりぼんは、地域の皆さんの集いの場として、今年で四年目を迎えました。手探りの状態で、あっという間に月日が経った気がします。

現在は、グリーンコープのケアマネとディスタッフで、毎週第3水曜日に、グリーンコープくらて店2階の会議室で開催しています。

開所時は参加者が9名でしたが、現在では多い時で17名。女性の方だけではなく、男性の方も5名くらい参加され大盛況です。

また、毎年一度も欠席されなかった方に「皆勤賞」として、手作りの賞状と福祉生活用品店舗の自由自在で購入した記念品を贈呈しています。昨年度は2名の方でしたが、今年度は5名の方に贈呈しました。サプライズなので受賞者の方々はとても喜ばれ「これからの励みになる。」と言われると嬉しく思います。

また、行事として、桜、藤、ツツジの花の時期には、近所にある公園へ行き、お花見をします。春の風と自然を満喫し、グリーンコープくらて店惣菜部の心温まる美味しいお弁当を食べて、皆さんご満悦でした。

～ツツジと藤のお花見会～
(デイの前の公園にて)

12月には「忘年会」。ゲーム等で楽しんでもらい、クリスマスプレゼントをお渡しし、美味しいお弁当(惣菜部)を食べ、とても充実した時間を過ごします。

その他に、毎月テーマを模索しながら、皆さんに役立つ事を考え、実施しています。今まで出前講座としては、福祉用具関連、栄養教室、口腔教室、認知症について、マイナンバー、エンディング等を開催し、参加者みんなで和菓子作り、手作業として正月作品、壁飾り、ぬりえ、脳活性ドリル等もしました。

また、一日のスケジュールは、その月の催し物、手足の運動、嚥下体操、脳を活性化する『ソナプソロジー』など。参加者は間違えることで「あら…」「どうだったかな あ」などと考えたり、皆で笑ったり、声を出すことで脳の活性化に繋がります。茶話会では、スタッフの手作り菓子とくらて店の試食品、コーヒーでおもてなし、帰り際には血圧測定もしています。グリーンコープのケアマネ相談等もあり、参加者の皆さんは、口々に「来月くるのが楽しみです。休まずに来ますね!」などと言って帰られます。

これからもスタッフ一丸となって、地域の皆さんと充実した時間を過ごしていきたいと思っています。

やすらぎの家
鞍手デイサービスセンター(ふくおか)

～これってなぁに?皆んなで楽しく脳トレ～

## 私のお薦め商品

グリーンコープの福祉ワーカーズのワーカーはグリーンコープの組合員でもあります。日々の調理や生活で、ワーカーが実際に使っているグリーンコープの商品から「お薦め」を紹介します。

### 「3種ピザのパーティセット」

ミックス・ジェノベーゼ・クワトロフォルマッジの3種類です。

お正月のお客様用に頼みましたが、どれも味がしっかりしていて美味しかったです。それからは、常備として利用しています。

冷凍ですので小腹が空いたときに一切れずつ食べたり、昼食として3種類食べたりします。「あっ、ピザ食べよう」と思うとなぜか嬉しくなります。

ふくしサービスセンター
びすけっと唐津ワーカー
(さが)

お見逃しなく!

＊カタログで定期的に掲載されていない商品です。クリスマス企画などで、是非ご利用ください。

## “デイサービスえん”齋藤さんが長崎のありすの家を視察されました。

東日本大震災直後、福祉ワーカーズの私たちができることで支援したいという思いを胸に、被災地に向かい、齋藤幸二さん・一惠さんご夫妻と出会いました。以来、支援を通して友好団体としての関係を結んでいます。

今回は連合会総会2日前に長崎に入られ、デイサービスありすの家を訪問されました。

総会では、大震災後の様子や思いをご報告いただき、大変な中、ゆるぎない思いで着実に前に進んでいらっしゃる齋藤さんご夫妻の姿に私たちも元気をいただきました。

《ありすの家体験記》

坂を上りきったところにありすの家はありました。あじさいが咲く昔風の玄関を入ると、ふんわり、ほのぼのとした空間がありました。

誰をも拒まない空間です。

同った時は、それぞれが、それぞれのことをしている時間でした。あなたの〝時〟を大事にしよう、そんな風に感じているスタッフの思いがひしひしと伝わってきました。

そんなありすの家で、私たちもまた頑張ろうと気持ちを新たにしました。

宮城　齋藤貢一・一惠

《皆が元気になれるワーカーズ企画第3弾～パート2～》

# 頑張ってます!!先輩ワーカー編

各県、子育て、配食、ケアマネジャーから、これまでも、そしてこれからも
生き生きと頑張り続けたい思いを皆さんへのメッセージとしてご紹介します。
いろんな仲間、いろんな思い、ワーカーズっていいな!!

## 佐賀

### 「これからも　やれるまで」

「生き生きと頑張りたい先輩ワーカーの原稿依頼が来ています。高尾さんにお願いします。」定例会でのこと。「え‥どうしよう。でも私が「番古株なんだよなぁ。」ということで…。

2001年「おもしろそうだな」という軽い気持ちでワーカーズに加入しました。当時はヘルパー事業もなく半日500円の電話当番や週1回のお掃除くらいでしたが、居場所を見つけた様で嬉しかったのを覚えています。

17年間いろいろな事がありました。失敗もご利用者との別れも戦力外通告を受け落ち込み自信をなくしたことも。しかしそれをこえて喜びがあります。感謝の言葉や笑顔です。事務所には、思いを共有できる心強い仲間が居ます。自分で働き方を選べるのもこのいい所。

これからも自分の体力、気力の続く限りやっていこうと思っています。

高尾 佳代子さん
《ぴすけっと》
ふくしセンター
ぴすけっと鳥栖

## 大分

### 「夢がかたちに」

30年前、転勤先で第2子を出産後、上の子どもが真夏に風邪を引き、両方の両親にも手伝って貰えず大変な思いをした思いから、お金を出しても良いから誰か助けてくれる人がいたらどんなに良いかなと考えていました。そんな思いから～夢ヲかたちに～「家事支援ワーカーズみどりの風」の立ち上げに携わったことを記憶しています。

「みどりの風」で仕事を始めて20年、100人近いご利用者の方との出会いがあったでしょうか。ご利用者の方もそれぞれの思いがあって「みどりの風」とのご縁があったのだと思います。介護の仕事に関わる中で人生の先輩（ご利用者）から学ぶ事も多く、人生勉強をしていると思っています。助け合いの気持ちでご利用者はもちろんワーカー同志でも助け合い、お互い様の精神でやってきました。グリーンコープで開催する2級ヘルパー！介護福祉士の資格も取得でき充実した毎日を送っています。そして30年前に考えていた「夢（のような事）がかたち」になっていることを実感しています。これからは、〈赤ちゃんからお年寄りまで〉を支援していくには自分が健康でなければ出来ません。その日の疲れはその日に自分の身体をメンテナンスしながら体力の続く限り「みどりの風」で頑張ります。

佐矢本 よう子さん
《おおいた♨温もり》
ふくしサービスセンター
みどりの風

## 福岡

### 「楽しくってしょうがない!!」

20年以上続けてきたグリーンコープ生協の活動組合員を卒業し、福祉のワーカーになって1年経ちました。ワーカーになる前は、「こんな私でもちゃんと務まるのかしら?」と不安で一杯でした。もちろん今でも半人前以下ですし、失敗や悩みもあります。ですが、その都度先輩ワーカーが手を差し伸べてくださるので、毎日楽しさややりがいを感じつつ働いています。

ワーカーとして働く中で何よりありがたいのが「仕事をしながら、笑顔で挨拶できる相手に日々出会えること」です。社会福祉法人グリーンコープの理念は「共に生きる」ですが、ご利用者と笑顔を交わし合うことが、嬉しく、ありがたく、また、そんな日々が楽しくてしょうがありません。ご利用者のいのちを支える福祉のワーカーの仕事で、私は生かされています。

大橋 由美子さん
《きらめき》
デイサービスセンター
たのつ

## 鹿児島

### 「必要とされていることに喜びを」

今年で11年目に入りました。高齢者の仲間入りでありながら自覚がなく、毎日介護支援、ガイドヘルパーと働いています。年齢を重ねていくに従って体力的に無理なところも出てくるでしょうが、ご利用者に寄り添ったワーカーとなっていられるように、毎朝目覚めてお会いする人々の顔を思い浮かべ、自分自身にエンジンをかけています。

休みが急遽潰れる事がありますが“まだ私で出来るんだ、信頼されているんだ”という思いで働いています。でもストレスが知らず知らずの内にたまります。心の安らぐ時間を少しでも持てるようにと私は園芸でリフレッシュしています。ワーカーが楽しく長く働けるように、時には他のワーカーとの交流会を設けていくのも宜しいのではないでしょうか。

小川 順子さん
《芽ぐみ》
ふくしサービスセンター
ミナミ

## 子育て

### 「地域社会の中で活躍される女性のために～私にできること～」

私は子育てサポートワーカーズ「あん・あん」のワーカーとして働き始めて4年になります。二人の子どもの子育て経験しかなく、特別な資格も持たない私に子育て支援の仕事ができるのか、はじめは不安の日々でしたがワーカーの皆に助けられ、またかわいらしい子どもたちと出会うたびにやりがいのある職場だと思っています。

近年、女性の社会進出も著しくなっており「子育て」と「仕事」を両立させたい女性にとって私たち子育てサポートは益々必要な仕事になっていくと考えます。私個人では微力ですが、社会で活躍される女性の手助けが多少でもできればと思っています。

私たちの活動が、将来の地域社会を担う子どもたちを見守り育てることに役立っているという自信と誇りを持って、日々、子どもたちに接していきます。

安藤 由紀さん
《子育てサポートワーカーズ
あん・あん》
（みやざき）

## 山口

### 「雨ニモマケズ…」

朝一番のラジオ体操でスイッチON
家事をしながらスクワット
階段は無料のスポーツジム
数独と東大王で脳のストレッチ
運転中はカラオケタイム
任侠ヘルパーのDVDで胸を熱くし
お笑い番組でゲラゲラ笑う
夫と映画館デート3ヶ月に一度
野菜と肉と少しの米を食べ、スイーツは別腹
朝、元気に目覚めたことに感謝
毎日のお通じに感謝
ワークに入ってくれるワーカーさんに感謝
苦情を言ってくださるご利用者に感謝
ヒヤリハットに感謝
支え支えられ仲間の存在に感謝
家族に感謝
障がい者グループホームを作る夢が叶うまで、こういう私で頑張りたい

池田 朝子さん
《やまぐち☆きららS》
ふくしサービスセンター
わかば

## ケアマネ

### 「年にも負けず、環境にも負けず」

今年3月私たちの事業所は本部を出て地域に出ることになりました。

これからどういう夢を実現していくのか、どういう風に地域に根ざしていけるのか、それは取りも直さず先輩ワーカーが生涯現役でいきいきと働ける場所を作ることにもつながります。

気が付くとケアマネを始めてもう11年目、あっという間に過ぎていったということは思うにグリーンコープの理念に賛同している皆と居心地よく働いているからでしょうか。

焦らずゆっくりでもいい、仲間が後から安心して歩いて来られる、そして働きたい間は活躍できる場所を作っていくことができる、それが夢です。この街がグリーンコープのホシになるようにしよう。

白坂 万里子さん
《芽ぐみ》
ケアプランセンター
（かごしま）

## 広島

### 「ワーカーズっていいな!!」

私がワーカーとして働き始めて9年が経ちます。

働き始めの数年は、子ども達もまだ小さく、かなり限られた時間にワークを入れてもらったり、家族に協力してもらいながらワークに出る日々でした。一日に何件もワークを抱えている先輩ワーカーさん方には申し訳ない気持ちでいましたが、“助け合いのワーカーズ!!”温かく見守ってくださり、子ども達が少し大きくなった現在、様々なワークに入らせていただき、たくさんのことを学びながら楽しく働くことができています。

介護の仕事は人間対人間です。嫌な思いをすることもありますが、気持ちを切り替えて次に向かうようにしています。愚痴をこぼしてしまうこともありますが、愚痴をこぼすことでストレス発散しています。

これからも子ども達の成長や家庭環境に応じて、ワーカーとして日々楽しく働いていきたいと思っています。

栗栖 薫さん
《ほっとはあーと》
ふくしサービスセンター
めーぷるネット

## 宮崎

### 「60歳を越えて」

1998年にグリーンコープ福祉連帯基金の助成を受けてホームヘルパー2級の資格を取得し、福岡で6年間ヘルパーとして活動していました。

2005年宮崎に引っ越してきました。2015年60歳を過ぎた頃、縁がありふくしサービスセンターぽれぽれで、もう一度ヘルパーとして働き始めました。20年前の気力や体力は衰えてきていますが、たくさんの経験や時間の余裕があることと、年齢を重ねてきたからこそ出来る仕事があると思っています。

ぽれぽれには、20代から60歳以上の多様な人材がいます。ワーカーそれぞれが幅広い活動を行ない、ご利用者に寄り添ったケアを続けています。私自身、もう少しの間、働ける喜びとご利用者に喜んでいただける幸せを感じ頑張っていきたいと思います。

福留 律子さん
《グリーンハート
おたすけオバちゃんズ》
ふくしサービスセンター
ぽれぽれ

## 長崎

### 「ワーカーズの働き方」

私がえくぼの一員となって17年が経ちました。両方の親の介護が終わり、さてこれから何をしようかと思っていたところ、ワーカー募集のチラシを目にし、飛び込んだのがえくぼでした。

当初、長崎は介護保険事業に参入していなくて、のんびりしたものでした。一年余りして、えくぼも介護保険事業所となり、時代の流れで私もヘルパーの資格をとり、思ってもいなかった日々が始まりました。

私がヘルパーとして心がけていることは、挨拶を元気よく。そして、ご利用者の方が望んでおられることをいち早く把握することです。

私も高齢者といわれる年齢になりましたが、ワーカーズという定年のない働き方に魅力を感じてここまで続けてこられたのかと思います。今なおご利用者の方のお役に立てる喜びを感じる毎日です。

大宅 幸子さん
《ねこのえくぼ》
ふくしサービスセンター
えくぼ

## 熊本

### 「出会いに感謝。これからもよろしく!!」

たすけあいワーカーズ「おおきな木」の設立と共に20数年間、グリーンコープの福祉に携わらせていただきました。ワーカー皆で話し合い、協力し合い、模索しながらの20数年でしたが、同じ志を持った仲間との活動は、楽しくとても充実していました。何よりワーカー同士の思いやり、優しさを感じながら働ける職場であった事に感謝です。

現在は、水俣を離れ西原村での暮らしですが、「たすけあいワーカーズみどり」に加入させていただき、今まで培った経験を生かし、益城町の災害支援の活動に携わらせていただいています。まだまだ復興は道半ばです。仮設団地に暮らす皆さんの不安な気持ちに寄り添いながら復興・自立の応援ができればと思っています。

これからも沢山の方々との繋がりを大事に、今の私に出来る事を模索しながら元気に働くことができるよう頑張ります。

津奈木 悦子さん
《ひとつ》
小規模多機能ホーム
ほのぼの・長嶺

## 配食

### 「生涯現役」

13年前、代表と二人でスタートした『配食サービスこらぼ』。今では調理スタッフ10名、配送スタッフ8名になりました。

初めは少量なので家庭用炊飯器や小さな雪平鍋を使って、調理者は一人で十分という状態でした。それが今では夕食弁当だけでも100食を越える日々。

一年に一度、お誕生日にお祝弁当をお届けした後、娘さんから「母がとても喜んで、また来年も食べられるように長生きしようと言っていました」とお手紙をいただきました。食べることは生きること、生きることは食べること、同じ食べるなら楽しく食べられるように、私達で出来る事は努力していきます。食べる事を通して年を重ねることを勉強させていただいています。

私は四年前に病を得、四ヶ月休職し、復帰した身で今は遊軍という感じで週に二日位の働きではありますが、少しでも社会と繋がって、役に立っている、元気で働けて幸せ！ありがたいことだとご利用者、ワーカーの仲間たちに感謝の日々です。

青木 伸子さん
《きらめき》
配食サービスこらぼ
（ふくおか）